

関係各位

国立研究開発法人産業技術総合研究所
四国センター 所長 大西 芳秋

第7回歩行解析産業研究会開催のご案内

産業技術総合研究所四国センターでは、ヘルスケア・医療に関係する企業や大学の皆様のご協力もいただきつつ「ヘルスケア・医療産業創出プラットフォーム」を整備してきました。補正予算事業で大幅に強化された身体動作計測関連施設と、身体機能や健康状態に関する情報を幅広い製品応用や事業化に向けて活用するための議論の場である「歩行解析産業研究会」はその中核となるものです。

このたび、**第7回歩行解析産業研究会**を開催することとなりましたのでご案内申し上げます。今回の研究会では、身体動作の計測、データ活用と社会実装に取り組む、企業、大学、産総研の研究者からの取組紹介に加え、企業どうしを含む新たな事業・研究連携に向けた情報交換セッションを予定しております。講演会の後には、新規導入設備を含む身体動作計測関連施設の見学会ならびに、個別の情報交換に向けた懇親会もありますので、今後の新たな研究・連携の取組を検討する機会と捉えていただき、多くの方のご参加をお待ちしております。

記

【日時】令和5年10月17日（火）13:00～16:30 ※終了後、施設見学、懇親会（会費500円）

【場所】①産総研四国センター（香川県高松市） ②Web会議システム
によるハイブリッド形式で実施予定（申込時に選択ください）。
※席に限りがございますので、お早めにお申し込みください。

【プログラム】

13:00 開会挨拶

第一部：取組紹介

13:05～13:35（講演25分、質疑5分）

「共有データによる研究推進の魅力と課題と将来－産総研歩行データベースを開発してきた経験より－」

産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 運動機能拡張研究チーム 研究チーム長 小林 吉之 氏

13:35～14:05（講演25分、質疑5分）

「製品開発における R&D センターの活用事例」

ダイヤ工業株式会社 開発部門

門脇 章人 氏

14:05～14:45（講演25分、デモ10分、質疑5分）

「アドバンスな重心動揺計測の医療分野への応用」

高知工科大学 システム工学群

准教授 園部 元康 氏

14:45～14:55 * * * * * 休憩 * * * * *

第二部：事業・研究連携に向けた情報交換

14:55～15:25（講演25分、質疑5分）

「あゆみシューズから見た歩行と自立支援について」

徳武産業株式会社

代表取締役社長 徳武 聖子 氏

15:25～15:55（講演25分、質疑5分）

「人間の呼吸からわかる世界」

株式会社 モーリス

代表取締役 毛利 公一 氏

15:55～16:25 総合討論

16:25～16:30 閉会挨拶

16:30～17:30 身体動作計測関連施設見学

17:30～19:00 懇親会

(申込先) <https://zoom.us/meeting/register/tJiodOupqz8sHd2wCp6lBlrhYG5V8Q0Ltmym>



(申込期限) 令和5年10月10日(火) ※会場参加のみ期限を設けさせていただきます

講演概要

「共有データによる研究推進の魅力と課題と将来－産総研歩行データベースを開発してきた経験より－」

産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 運動機能拡張研究チーム 研究チーム長 小林 吉之 氏

【概要】

産総研では、歩行データベースや人体寸法データベースなど、これまでも様々なデータを公開してきました。近年、医学系研究に関する指針や個人情報保護法等が厳格化してきており、データの共有には様々な検討が必要になってきています。他方、世界的にはデータを共有していく流れができてつつあります。今回は、共有データによる研究推進の魅力と課題と将来について、事例を踏まえつつ参加者の皆様と意見交換ができればと考えています。

「製品開発における R&D センターの活用事例」

ダイヤ工業株式会社 開発部門

門脇 章人 氏

【概要】

医療用品メーカーのダイヤ工業株式会社（本社：岡山県）は、科学的根拠に基づく製品の研究開発を目指し2016年にR&Dセンターを開設しました。そこで計測・解析したデータは当社のコルセットやサポーターをはじめ、労働軽減用アシストスーツなど多岐にわたる製品づくりにおいて活用されており、今回はその一部をご紹介します。

「アドバンスな重心動揺計測の医療分野への応用」

高知工科大学 システム工学群

准教授

園部 元康 氏

【概要】

安静立位の評価では圧力中心（足圧中心）計測が広く用いられてきましたが、新たな手法として3軸の力と3軸まわりのモーメントを計測するフォースプレートと頭部の慣性センサの計測から、正確な重心の推定法を開発しました。本手法を医療分野における感覚器重みづけや関節戦略の評価などへ活用した事例について紹介します。

「あゆみシューズから見た歩行と自立支援について」

徳武産業株式会社

代表取締役社長 徳武 聖子 氏

【概要】

徳武産業は「足元から人生を幸せに」というスローガンのもと、介護シューズを企画・製造・販売して30年になる企業です。あゆみシューズから見た「歩行と自立支援」について、現状の課題と取り組みについてご紹介します。

「人間の呼吸からわかる世界」

株式会社 モーリス

代表取締役

毛利 公一 氏

【概要】

現在日本は、高齢化問題に直面しており、「フレイル」という状態が注目されています。弊社は、フレイルを含む身体・運動機能の低下に伴い生じる、呼吸などを含む日常生活動作の微小な変化を、呼吸センサなどを活用したシステムで検出することで、健康状態の悪化、要介護状態へ繋がる機能低下の予兆を早期に発見することのできるAI評価システムの構築を目指しています。今回は本研究の実施内容をお話します。

<お問合せ先> 産総研四国センター 産学官連携推進室
E-mail s-renkei-jimu-ml@aist.go.jp
TEL 087-869-3530